

エコライフ・カフェ

実施報告書 2016

inおおいた

11月26日



エコライフ・カフェ in おおいた 実施報告書

事業名	平成28年度 エコライフ・カフェinおおいた 「草原が与えてくれる自然の恵みを体験しよう！」		
開催日時	平成28年11月26日(土) 13:30～16:00		
会場	長者原ビジターセンター・タデ湿原		
目的	<p>①大分県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな市民参画、環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。</p> <p>②いい風呂の日(11月26日)を家庭で電気やガスを使わず温泉をシェアするエコな日として発信していく。</p> <p>③今年は大分県九重町で、国際的に重要なラムサール湿地に登録されたタデ原湿原で保全活動を体験頂くことで、大分の豊かな自然の恵み、それを支える活動への理解を深める。活動後は温泉にゆっくり浸かりながら参加者同士の交流を深めて頂く。</p>		
対象	環境保全や環境活動に取り組んでいる団体や個人。これから始めようと考えている団体個人。社会的責任で環境保全に取り組む企業。行政担当部署。興味関心ある方		
参加費	一般:1000円 / 会員: 500(資料代等)		
参加数	6人(関係者参加9名)	30%	目標人数 20人
入会者	1人入会		
スタッフ	川野理事 宮原		
内容(流れ)	<p>12:30 (ビジターセンター)会場入り～テーブル、受付〔スタッフ全員〕</p> <p>13:30 開会挨拶(趣旨、プログラム説明、資料確認)〔司会:川野、挨拶:宮原〕</p> <p>13:40 九州環境サポートセンターの活動紹介〔宮原〕</p> <p>13:50 話題提供②「タデ原湿原 野焼き復活の取り組み」 講演者一飯田高原野焼き実行委員会 会長 高橋裕次郎氏</p> <p>14:20 移動</p> <p>14:25 体験作業① 輪地切(野焼きの準備)体験(指導:長者原ビジターセンター)</p> <p>15:25 作業終了、参加者から自己紹介&一言感想、まとめ、アンケート記入 (お茶とお菓子提供)[各自] <じゅうファンクラブの紹介(ビジターセンターより)> 温泉の効能について(星生ホテルより冊子配布) タデ原湿原野焼きボランティアについて(自然学校より) 名刺交換交流会(各自) 九州環境サポートセンター今後のイベント案内(九州環境市民フォーラムinさが 等)</p> <p>16:00 閉会のあいさつ、解散 解散後、各自、星生ホテルに移動し、温泉に入っていた(自由参加)</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・野焼き復活の経緯・維持活動や今後の課題など担当者の話を直接聞き、輪地切り体験をしたことで、自然景観を維持する大変さと重要性を少し体験することができ、参加者からいい経験ができたという好評であった。 ・草原を維持するために地域の様々な団体・行政等行動していることを見聞きすることができ、開催に当たっても川野理事(九重ふるさと自然学校のご尽力により、協力いただいたことには感謝し、今後も連携していきたい。 ・参加費の一部を野焼き実行委員会の活動への寄付金(謝礼)として寄付させていただいた。 		
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少なかった。チラシ発送やHB/FB等での告知、これまでのイベント参加者への直接連絡と行ったが、直接参加にはつながらなかった。会員やイベント参加者への返礼やアフターフォロー等、丁寧に行っていく必要がある。学生さんが入会してくださった、今後のフォローを大切に行っていきたい。 ・11月26日を「いいふるの日」として、温泉を利用することが省エネにもつながるという大分県理事の思いがあり、時期を決めたが、環境団体のそれぞれイベント開催時期と重なり、参加できなかった団体も数多くあった。 ・今後は企画内容のターゲット、環境団体のニーズなど、十分配慮して内容や開催時期など検討していきたい。 		

エコライフ・カフェ開催の様子

九重ビジターセンターにてビデオ上映

1. 開会挨拶



2. 野焼き復活について

復活への思い、経緯や苦労話・現状課題などを聞く



3. 輪地切り体験

草刈したものの整備を行う



4 交流会

・自己紹介
・感想を聞き合う。

(九重ふるさと自然学校より「地獄蒸しのサツマイモ」・ビジターセンターよりコーヒーやお茶・お菓子の差し入れをいただく)



5 記念写真

・今年秋より創設した「くじゅうファンクラブ」パンフレット
・星生ホテルより提供いただいた入浴券

